

針原 はりばら 現代詩書下し詩集・1

1982年10月30日発行

著者 荒川洋治

発行者 小田久郎

発行所 株式会社思潮社

東京都新宿区市谷砂土原町 3—15

振替東京8—8121番 電話東京(267)8141

印刷所 相良整版 製本所 岩佐製本

定価 1800円 1092-106001-3016

装幀 菊地信義

I313. 25
J313-1

埼玉県立久喜図書館



115 15480

現代詩書下し詩集

思潮社

荒川洋治

針原

針原

現代詩壇下し詩集

荒川洋治

思潮社

針原

目次

針原

駅

白文Ⅰ

古い愛の時間

鍵

雨

遺族の家

雪

中

白いダイヤ

ニセ・アカシアの名のもとに

薔薇色の食卓

歌

14

18

22

32

36

40

44

50

54

58

62

66

70

傘

八十九歳を撮る日

白文Ⅱ

景勝

外燈

海へ落ちず

鹿苑

桜色の糸

花火

黒い黒板

星

金沢

杉津

別れ

132 130 126 122 118 112 108 104 100 98 84 80 78 74

針原——一九八二

針原

二万一千人の死傷者を出した

福井大地震は

一九四八年六月二十八日のことである

私が生まれたのは

一九四九年四月十八日

つまり

震えが

とまってから

父と母の若いからだは

向き合ったもようである

不動

不微動のいまも

明けの空に立つと

血にぬれた干竿が

いく本か見える

牛骨を裂く地割れと天空に

若い母が見たものと

若い父が見たもの

とは

同じもので

あるはずだが

川で分かたれたか

花の火の下、落命を跨いで分かたれたか

いまだ固まらぬ大地で